知事談話
（富山大学の次期学長決定について）

令和８年１１月４日
富山県知事　新田　八朗

本日の第４回富山大学学長選考・監察会議において、現富山大学理事・副学長の酒井 秀紀さんが、次期学長に決定されましたことを心からお祝い申しあげます。

富山大学では、平成１７年１０月に統合した３大学の伝統と実績を継承しつつ、これまで、国際水準の教育・研究、人材の育成、地域と国際社会への貢献、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展などに寄与することを理念として、大学の機能強化に向けて様々な取組みを推進してこられました。

近年は、少子化・人口減少の進展や急速なデジタル化・グローバル化など、高等教育を取り巻く環境が大きく変化しており、地域社会から大学に寄せられる期待はますます高まっています。特に、研究成果の社会実装による地域活性化、産学官連携の深化、データサイエンスやＡＩをはじめとする新たな分野を担う人材の育成、さらには若者の県内定着や地域産業を支える人材の輩出など、富山大学が果たす役割は幅広い分野にわたり、かつ極めて重要なものとなっています。

県としても、教育・研究、産業、医療など様々な分野において富山大学との連携をさらに深め、「未来に向けた人づくり」と「新しい社会経済システムの構築」に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

酒井さんには、先見性のある強力なリーダーシップのもと、富山大学が世界にも開かれた地域の知の拠点としてさらなる発展を遂げるとともに、本県の未来を担う人材の育成と、県民のウェルビーイング向上に引き続き大きく貢献されることを期待しております。